
編集後記

2002（平成14）年度は、中等教育研究センターが発足してから3年目、センターが本格的に活動を展開した年度となった。環太平洋6ヶ国から研究者を迎えて教育発達科学研究科と共同で6月に開催した「国際教育フォーラム」。学内外5名の研究者と附属学校1名の教員による、同じく研究科と共同で11月に開催した全学シンポジウム「大学の知と高校生の学力」。そして、このシンポでの参考資料を得るために、センター研究員および研究協力員を対象に10月に実施した「高等教育が求める高校生の能力」に関するアンケート。さらには、附属学校と共同で2003年3月に開催した全国の国立大学附属高校教員による「高大連携研究会」、である。

次号回しとなる年度内最後の研究会報告を除き、本第3号ではそれらフォーラムなどの記録を収録した。そして、8月に教育発達科学研究科によって実施された「サマー・スクール」の詳細な記録をはじめ、他に個別論文の本数も多く、一冊には収まりきれないために、第3号は2分冊による刊行となった。2001年度に第1号を出す際には、原稿が集まるだろうか、と心配したことがまるでうそのようである。それだけに、投稿規定の整備が急がれる。

附属学校の総合情報教育棟内に仮に置かれた中等教育研究センター室は、研究科建物の耐震改修工事による研究室などのやりくりの関係で、附属学校の別の部屋に一時的に移転しているが、春には最終的なセンター室として総合情報教育棟2階に正式にオープンできる運びである。中高大の連携が少しずつ前進している様子を直接見ることが出来るのは、高等教育が大きな転換期にあることを肌で感じることで出来る緊張にみちた幸運な経験である。（今）

中等教育研究センター紀要 第3号〔2〕

2003年3月25日 印刷

2003年3月31日 発行

編集者・発行者 名古屋大学大学院教育発達科学研究科
附属 中等教育研究センター
代表者 今 津 孝次郎
名古屋市千種区不老町 〒464-8601
名古屋大学教育学部附属中・高等学校内
TEL & FAX : 052-789-4214
E-mail : cses@highschl.educa.nagoya-u.ac.jp
印刷所 新協和印刷株式会社
名古屋市瑞穂区新開町25-6 〒467-0856
